

二〇二四年度 入学試験問題 帰国生

国 語

【注 意】

- ・ 試験時間は五〇分です。（八時五〇分～九時四〇分）
- ・ 問題は一ページから九ページまでです。
- ・ 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- ・ 字数制限のない問題について、一行分の解答らんに二行以上解答してはいけません。
- ・ 記号・句読点がある場合は字数に含みます。
- ・ 解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。



洗足学園中学校

① 次の文章は、牧野雅彦『今を生きる思想 ハンナ・アレント 全体主義という悪夢』（2022年）の第6章「『事実の真理』を守り抜く」の一節です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

5

10

15

20

25

30

35

40

45

50

55

60

(牧野雅彦 『今を生きる思想 ハンナ・アレント 全体主義という悪夢』)

★ポリス……………国家。都市国家。市民による政治体のこと。

★アレント……………ハンナ・アレント(一九〇六―一九七五)。ドイツ出

身のアメリカ合衆国の政治哲学者・思想家。本文は、ハンナ・アレントの思想をもとに執筆しゅひつされている。

問一

——(1)「事実を語る証人」とありますが、筆者はここで「ありのままの事実」を語ることの難しさを述べています。本文によれば「ありのままの事実」を語ることが難しいのはなぜですか。——(1)より前の記述をもとに、「ありのままの事実は、…が少ないから。」という記述文になるように、三行以内で説明しなさい。

問二

(2) に入れる表現として最もふさわしいものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 事実はたしかではありません
- イ 不都合な真実があるだけです
- ウ それはあなたの意見でしょう
- エ 意見など存在しないのですよ

問三

——a「『事実の真理』」、b「『政治』」とありますが、筆者はこの二つについて、どうする必要があると述べていますか。筆者の考えをわかりやすく三行以内で説明しなさい。文末は「…こと。」としなくてかまいません。

問四

——(3)「われわれの生きる拠り所としての『事実』を伝えるのがジャーナリズムの役割である」とありますが、筆者によれば、「ジャーナリズムの役割」とはどういうところにありますか。その背景を文末を「…ところ。」という形にして三行以内で説明しなさい。

問五

——(4)「そうした状況」とありますが、その説明として最もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 人びとが好きな情報を大量に流通させることができる一方で、世論を一定の方向へ導いてゆくことが困難になるとい状況。
- イ 情報の流通量や速度が従来のマス・メディアを超えてゆく一方で、必要な情報を取得しにくくなる可能性もあるという状況。
- ウ 双方の通信技術が発達してゆく一方で、世の出来事や政治に対して批判的な情報も広がっていくおそれもあるという状況。
- エ 大量の情報が広範囲に流通する一方で、その中に意図的な操作や攻撃性のあるものも混在しているかもしれないという状況。

問六

——(5)「そうであるからこそ政治の側は、報道が中立的な情報提供という役割を十分に果たすことができるよう保護しなければならない。」とありますが、このことに関連して国語の授業では、先生の説明があり、その後Aさん、Dさんの意見や感想が述べられました。本文の内容に沿った考え方をしている一人は、AさんからDさんのうちの誰ですか。ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

先生 ここでは、報道機関と政治的活動とが明確に区別されていなければならぬだけでなく、政治の側が報道機関に対し、中立的な情報提供を保護すべきことが述べられています。皆さんは、ここでの「中立」と「保護」についてどう考えますか。

ア Aさん 私は、ここでの「中立」とはどちらの政治的勢力にも偏らないことを意味しているので、政治の側は報道機関に対して一定のルールを設けて規制することが「保護」に当たると考えました。

イ Bさん 私は、ここでの「中立」とは報道機関が政治的影響下になく、中立的な情報提供を可能にすることが「保護」に当たると考えました。

ウ Cさん 私は、ここでの「中立」とはどの政治勢力に対しても公平に批判できる報道を意味しているので、政治の側から見て中立的だと判断した報道機関を守ることが「保護」に当たると考えました。

エ Dさん 私は、ここでの「中立」とは非政治的な機能を果たしている報道機関のことを意味しているので、政治の側は自らの政治勢力に寄与をなすようにすることが「保護」に当たると考えました。

問七

A D に入れる語として最もふさわしいものを次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使います。)

ア したがって イ たとえば ウ あるいは エ しかも

問八

——アイオのカタカナを漢字に直しなさい。

問九

本文の内容に合うものを、次のアイエの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「自由」「正義」「名譽」「勇氣」といった人間の生きる原理原則や

資質・特質を政治の場で語るとき、その真理性は敵意や反感の的になる場合が多いため、結局は誠実さの証明にしかない。

イ 哲学が根本的なところで政治に対して批判的・懐疑的な立場をと

り、常に「真理」を求めていたのは、古代ギリシア・アテナイの民主政が単に多数決による決定では通用しなかったことによる。

ウ 政治の場において「事実の真理性」が擁護されるべき理由は、政治の場では不都合な事実が否定されやすいからであり、その意味

でジャーナリズムの担い手としての報道機関の役割は大きい。

エ インターネットによる情報は、流通量と速度において従来のマス・

メディアを超えており、報道機関による意図的な「誤報」や「虚偽」の報道も含まれているので、私たちは注意すべきである。

2 次の文章は、いとうみく『パンピー』の一節です。

これまでの主なあらすじを読んで、本文を読み、後の問いに答えなさい。

これまでの主なあらすじ

高校二年生の主人公高比良成は、三年前に母（衣里）を亡くしている。しかも父親（高比良悠之介）が「しばらく留守にします」と置き手紙を残し、いなくなってしまう。三人の妹（小学五年の環、四年の巴、一年の奏）の面倒を見る毎日を送ることになった。ある時、妹がSPAで万引きをしたという店からの通報を受け、成は引き取りに店へ行くが、そこで出会った万引きの犯人は深沢蛭という十六歳の女子高生だった。蛭は悠之介を「パパ」と呼び、連絡の取れない悠之介に代わって成が身元引受人にさせられ、家に連れて帰ることになった。家のことは叔母の小春（悠之介の妹）が来ていろいろと世話をしてくれていたが、成、環、巴、奏、そして蛭も加わり、五人の面倒を見る当面の親代わりが必要ということで小春もしばらくこの家で暮らすことになる。小春は美容師で自分の店を持っている。蛭は高校を休学しており、小春に薦められて店の手伝いをするようになる。そして家族六人の生活に少しずつ慣れていった。蛭の母親である深沢頼子は、小春が美容学校を卒業してすぐに勤めた大手美容室で出会った同期の美容師で、閉店後によく二人で練習をしていた仲だった。

75

70

65

60

55

50

110

105

100

95

90

85

80

(いとうみく『パンピー』)

★たいがいだ……………かなりの程度に達するさま。

問一 —— a 「バツが悪そうに」・ —— b 「苦笑する」とありますが、

(一) それぞれの意味として最もふさわしいものを、一つずつ選び、記号で
答えなさい。

a 「バツが悪そうに」

ア なんとなく恥はずかしそうに

イ 外から見た感じが悪そうに

ウ しめくくりが付かなそうに

エ 傲慢ごうまんな態度を改めるように

b 「苦笑する」

ア 心の中で、人知れずこっそり笑う
イ 軽べつする気持ちで、相手を笑う
ウ 不満は残るが、よくやったと笑う
エ 不快に思いながら、仕方なく笑う

(二) 「笑い」に関する語句問題です。次の〈説明〉が完成するように、

I にひらがな三字、II に漢字一字（ひらがなでもよい）、

III に漢字一字をそれぞれ入れなさい。

〈説明〉

「思い通りになって、うまくやったと、一人でこっそり笑うこと。」をあらわす言葉を I 「えむ」と言う。また、「いつもにこにこ暮らしている人の所には、ひとりでに幸せがやってくるものだ。」という意味のことわざを、II 「笑う」には III 「きたる」と言う。

問二

(1) 「すんと胸に落ちた。」とありますが、「螢」はどういうことが「すんと胸に落ちた」のですか。文末は「…こと。」という形にして、三行以内で説明しなさい。

問三

(2) 「『だったら、おじさんのことをパパって思えばいいよ、ほら言つてごらんって』とありますが、「悠之介」が「螢」にどのように言うことができたのはなぜですか。三行以内で説明しなさい。

問四

—ア「ア」を振った。・—イ「イ」を噛んだ。」とありますが、「ア」を振った」は慣用句で、頭を左右に振って承知しないという気持ちをあらわす言葉です（128行目にも同じ表現が出てきます）。ア に入れるひらがな三字を書きなさい。また、「イ」を噛んだ」も慣用句で、「悔しさをじつと我慢する。」という意味をあらわす言葉です（125行目にも同じ表現が出てきます）。イ に入れるひらがな四字を書きなさい。

問五

—(3)「『やめて！』とありますが、このときの「螢」の心情を、文末は「…という気持ち。」にして三行以内で説明しなさい。

問六

—(4)「螢の頬がわずかにゆるんだ。」とありますが、その理由を説明したものとして最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自分は母の美容師としての立派な姿を理想にしており、小春の発言には少し説教臭さを感じているのに、成は周囲を気にしないで思うことを述べるのが、かえって微笑ましく思えたから。

イ 自分は母の苦勞を幼いころから知っており、万引きの件では早く罪を償ってほしいと願っているのに、今さら万引きの原因を聞く成の様子から、かえって安心感が得られると思えたから。

ウ 自分は母のことで複雑な思いを抱え、万引きしてしまふ母の内面を少しでも理解したいと思っているが、成のほうはそのことに大して頓着していないことが、かえって滑稽に思えたから。

エ 自分は母が大変な暮らしの中を生きてきたことに思いを巡らすとともに、万引きは悪いと思っていたので、成が思ったとおりの言葉が発してくれたことで、かえって清々しく思えたから。

問七

A・B に入れる語としてふさわしいものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。（ただし記号はそれぞれ一回ずつ使用します。）

ア ぼそりと イ ぐっと ウ じつと
エ ぼうつと オ ちゃんと カ ずらつと

問八

国語の授業で、Aさん、Dさんの四人が本文を読んだ感想を述べ合いました。この中で本文を最も正しく読んでいる一人は誰ですか。次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア Aさん 私はホトムラさんと悠之介の厚い友情が気になりました。

赤ちゃんの名付けを悠之介に託したことから、ホトムラさんは悠之介をいかに信頼していたかが理解できます。

イ Bさん 私は蛍の心の複雑さに関心を持ちました。蛍と頼子さんを

中心に本文前半から読み直すと、後半の厳しい蛍の言葉の裏に離れがたい親子関係を感じとることができます。

ウ Cさん 私は蛍のよき理解者としての小春ちゃんに興味を持ちました。小春ちゃんはホトムラさんと頼子さんが出会った

時からよく事情を知っていたのだと推測できます。

エ Dさん 私は成の内面描写が本文に安定した語りの役割を与えていると感じました。成の思いが場面ごとに挿入されているのはそのためだろうと結論づけることができます。

問九

本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 蛍の母頼子は、美容師としての腕の良さが買われて都内にある大手美容室で働くことになったが、転校して見知らぬ街で見知らぬ学校に通う娘がかわいそうでならなかった。

イ 幼少期から母と二人だけで暮らしてきた蛍は、どうして自分には父親がいないのかを口にするのを、運動会や父の日や母が不安定なとき以外は禁じられていた。

ウ 「天然」と言われても思ったことを率直に言う成は、蛍がなぜ母親子と同じように万引き事件を引き起こしてしまったのかを、自分なりに理解できたような気がした。

エ 小春は頼子が仕事も丁寧で魅力的な人間であることを蛍に伝えたが、蛍にとってはかえって余計な期待を背負うことになる、精神的な負担を感じることも多かった。

